

# 声 Voice

才

## 尊厳死について議論を深めよう

開業医 菅尾 頼明  
(福岡県 51)

医療の進歩などで平均寿命は延びている。だが、長い間、寝たきりだったり、重度の認知症などで意思の疎通もままならなかったりする高齢者も少なくない。死は誰にでも訪れる。生き方と同様に死の方には、各人の考え方が反映されるべきだ。日本尊厳死協会という組織があり、尊厳死の希望を表明するのに貢献し

ているが、現状では、その存在が広く知られているとは言いがたい。本人が元気な時の意思が明確に確認できる場合は、尊厳死を公の制度によって認めるべき時期が来ていると考える。もちろん、回復の見込みが極めて低い場合や、重度の認知症で人間としての尊厳が決定的に損なわれている場合に限る。

尊厳死について議論を深めることの重要性を、臨床医として強く感じる。

## 数値目標立て五輪の猛暑対策を

中学校教員 小島 剛太  
(岐阜県 42)

猛暑のため熱中症で搬送される人が相次いでいる。そんな日本の東京で、5年後に五輪・パラリンピックが開催される。気温30度を軽く超えている中で、選手はベストを尽くせるのだろうか。世界からやってくる観客は安全に楽しく声援を送ることができるのだろうか。今こそ真剣に猛暑対策を講じるべきだと思う。

これからの5年間で具体的に年に一定程度、平均気温を低くする。そのために数値目標を立てて、本気で取り組んで欲しい。日本人の経験と技術力を今こそ結集するべきだ。古来の打ち水をシステム化したり、気温を低下させるような建材を開発したりするなど、できることはたくさんあるはずだ。暑さに顔をゆがめる選手や観客を、せっかくの祭典で見たくはない。

## 「美しすぎる議員」は不適切

主婦 鞍智 美知子  
(神奈川県 83)

民放テレビでよく聞く言葉で気になることがある。「美しすぎる○○」「美人すぎる○○」という言葉だ。議員や医師など美醜が問われることがない職業が多い。まるでごっこ職業の人たちは、美しくあつてはならないというのを前提

しているのであつて、議員という職業を馬鹿にしているように感じる。「美しすぎる」「美人すぎる」は不適切だ。そんな細かいことに目へばらを立てるなんて、と思われるかもしれない。しかし、娯楽雑誌ならまだしも、テレビは社会の公器という性格を持っているはずだ。ちまたではやっていると、言葉を止

## 日常的に、付き合ってますか？

# きよリス

### きよようだ

先立つ不安は親の介護よいつまで？/10年親を介

### 責任はど

### 義理きようだ

### 長女の呪縛が

### ブラザーズ企

### 一人っ子は

彼氏置き去りでデート放棄する

### 実家を

売れない、貸せない、壊す危険な空き家認定で高額



止します